

下肢静脈エコー検査を受けられる方へ

◎静脈エコー検査とは

静脈エコー検査は、下肢静脈の太さや形態、血栓の有無などを知るために行う検査です。静脈には血液を効率よく心臓に戻すためにいくつもの弁が付いており、この弁の機能不全により起こる疾患もあります。下肢静脈は深部静脈と表在静脈からなり、症状や疾患により検査の内容や検査時間が異なります。



◎検査が必要な主な病気

【深部静脈血栓症】

死亡の危険性が高い肺静脈塞栓症の原因となる疾患で、俗にエコノミークラス症候群（ロングフライ血栓症）とも呼ばれています。脱水、長時間座ったまま、手術後、寝たきりなどの原因により下肢静脈内の血液の流れが悪くなり血栓ができる病気です。

【下肢静脈瘤】

立ち仕事、出産後、遺伝などの原因で静脈内にある弁に障害が起こり、下肢の表在静脈が拡張、蛇行し瘤（こぶ）のように膨らんだ状態をいいます。見ために分かるだけで無症状の方もいますが、むくみ、痛み、潰瘍などを伴う場合があります。

◎検査方法・手順

- 1.ズボンやスカートを脱いでいただきます。
- 2.下着一枚になっていただき、足の付け根よりゼリーを塗って検査を行います。丈の長い下着はなるべく避けて下さい。
- 3.検査時間はおよそ40分～60分です。
- 4.部屋の明かりは消して検査を行います。